

令和8年度 2学期始業式 式辞要旨

皆さんは覚えていますか。

令和8年7月28日に熊本地震と令和8年8月13～14日に千葉豪雨が起こりました。

今日皆さんは普段通り登校してきたと思います。

しかし、被害に遭われた方々は、これまでの生活をまだ取り戻していません。

災害はいつ起こるかわかりません。常に自分事として捉えてください。

災害に遭ったときも、普段の学校生活でも大切なのは、自分で考えて行動することです
1学期の終業式で、「知恵が出る行動を起こしましょう」という話をしました。

さあ、今年の夏休みはどう過ごしましたか。

さて、皆さん次の場合どう考えますか、少し考えてください。

1 テストで悪い点を取ってしまったとき

- ① どこを間違えたか確認して、同じミスをしないようにしよう
- ② あれだけ勉強したのに、もういいや
- ③ 勉強してないから

2 自転車で一時停止の標識がある場所を止まらずに通ってしまったとき

- ① 事故の危険があるので、次からは必ず一時停止をしよう
- ② 車やバイクが来ていなかったから、今回は大丈夫だった
- ③ 車の方が注意してくれるはず

さあ、いかがでしょうか。

本当に知恵を出すというのは、「どうすればできるだろう」「どうすればもっと良くなるだろう」と考えることです。

社会もそうです。勉強もそうです。部活動もそうです。人間関係もそうです。学校のルールについても同じです。

特に学校のルールは、教師や学校のためにあるのではなく、皆さんが安心して気持ちよく学校生活を送るためにあります。

だから大切なのは、「なぜ守れないのか」ではなく、「どうすれば守れるか」を考えることです。

一人一人が知恵を出し、自分で考えて行動できる2学期にしてほしいと思います。

『できない理由を探す人ではなく、できる方法を考える人になってほしい。』

教師も生徒も、お互い気持ちよく過ごせる学校にしていきましょう。